フォントビューワー 開発仕様書

2019/09/11 初版

BJIT アカデミー

目的

BDF フォントファイルのビットマップフォントのビットマップを CUI 上に表示し、フォント形状を確認する。

対象とするフォントは、8x8 ビットのみとする。

使用する環境

Ubuntu (バージョン 18.04 以上)

Python 言語 ver. 3.0 以上 または、C++ (g++ ver 8.3.0 以上)

使用するデータ

Ib8x8u.bdf (テストデータ)

参考の仕様書

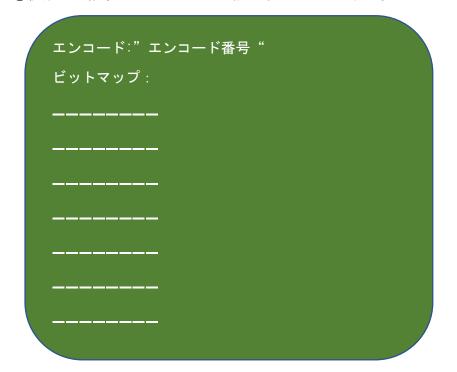
5005. BDF_Spec. pdf

実装する機能

① "エンコード番号"をターミナルから入力する。

"エンコード番号を入力してください"のメッセージを出す。 入力前には、

- ② "エンコード番号"を入力し、リターンキーを押すと検索結果を表示する。
 - ※エンコード番号は、10進数と16進数の両方で入力できるようにする。
 - ※16進数の場合は、入力値の先頭に"0x"を付加する。
- ③検索した結果の出力データは下記フォーマットとする。



- ※ビットマップの表示には、0ビットを"-"、1ビット"*"として表示する。
- ④検索した結果に該当のデータがない場合は、下記メッセージを出す。

"該当のデータがありません"

※フォントビューワーは、コマンドプロンプトから入力するファイルを第一引数として指 定して実行できるようにすること。

入力例1)

エンコード番号を入力してください 65

出力例1)

エンコード: 65 (0x41)

ビットマップ:

___*<u>*</u>____

-***
